

平成22年度 第1回次世代育成支援対策地域協議会 会議録要旨

日 時	平成22年9月5日（日） 午前10時から午前11時20分
場 所	笠間市役所 大会議室
出席者	<p>【出席委員】 安田委員長, 佐藤副委員長, 増淵委員, 太田委員, 打越委員, 湊委員, 村上委員, 藤岡委員, 千葉委員, 小菅委員, 染谷委員, 塩畑委員, 山崎委員, 中庭委員, 藤枝委員</p> <p>【欠席委員】 常井委員, 柴山委員, 石本委員, 高橋委員, 畑岡委員</p> <p>【事務局】 櫻井子ども福祉課長, 海老沢少子化対策室長, 岡野主査</p>
傍聴人	無
会議次第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 議 事 (1) 笠間市次世代育成支援行動計画「かさまっ子未来プラン」 平成21年度事業実績について</p> <p>(2) その他</p> <p>3. 閉 会</p>

開 会	
事務局	平成21年度の事業実施状況を取りまとめ、前期計画期間中3ヵ年の事業費の決算状況、前期の中で新たに取り組んだ事業や、内容を拡充した事業について整理したものを今回の会議で皆様にご報告申し上げ、皆様のご意見をいただきまして、今後の事業推進に活かしていきたいのでよろしくお願いたします。
安田委員長が会議を進行する。	
議事（1） 笠間市次世代育成支援行動計画「かさまっ子未来プラン」平成21年度事業実績について	
事務局	年度更新により変更のあった委員の紹介。 資料1～5に基づき説明。 以下主な意見等。
委員長	資料1は、21年度の事業実施状況の報告書。 資料2が前期計画3ヵ年の事業費の決算状況を整理したもの。 資料3は前期計画での新規事業と内容を拡充した事業を抜き出したもの。 資料4は、目標が達成できなかった事業の問題点や、また、実施できた事業でも、課題があるものについて整理したもの。 資料5は、それらの課題等を踏まえて策定した、後期計画の施策体系を「仲間づくり」「時間（ゆとり）づくり」「空間づくり」の3つの視点で整理したものという説明でした。 これらを基に意見交換をしてゆきたいと思います。

委員	資料4、事業番号151「三世代交流イベント開催」について。 方向性が「各地区子ども会育成連合会の組織の充実」という表現ですが、 どういうことを指しているのかお聞きしたい。
事務局	組織の基礎となる地域の子ども会、それが集まって連合会になるわけ ですけれども、その地域の子ども会の活動が、人数が少なく、子ども会の組 織できない地区、いくつかの地区がまとまって子ども会を組織している所 もある。 地域の子ども会の組織をきちんとし、充実させて行くのが、市全体的に 充実させるために必要であるということです。 一つの事業の中での課題としてこういう形で、出ておりますけれども、 基本的には地域単位の子ども会が親子両方とも活発にという事だと思いま す。
委員	各地区で開催しているこの事業一つだけ取り上げて、地域ごとの連合会 の組織の充実というのは語弊があるのではないですか。 確かに地域の活性化だと思います。 昔は子ども会は子ども達が自主的にやっていたのですが、いまは子ども 会という大人が手を挙げる。 大人は子ども会ではなく育成会なのですが。 親が子離れしていない、そういう事業に子どもを自主的に、積極的に参 加させてくれないというのが現状です。
委員長	地域の子ども会活動活性化のためにこういう事業を通じてそれをサポー トしてゆくというような主旨であると思います。
委員	方向付として組織の拡充はどうやるのかなと。
委員長	これは別に文言を変えなくてもよろしいでしょうか。 これはこういう文言で、中味としては今言ったようなことを確認したと いうことでよろしいですね。
委員	資料4、事業番号101番「地産地消の推進」について。 資料1で見ると「実施、米が21か所野菜9か所」になっている。 内容は給食用の農産物を使うということで学校を中心とした地産地消で すが、地産地消の推進という事は学校だけではなくていろんなところが大 事だと思います。 一人暮らしの高齢者の方に給食サービスをして、その食材に地産地消の 食材を使って、何年かやってきました。 ただ食材の食品目があまり多くない・必要なときに出来ない・高い時 もある等により止めてしまった。 問題点・課題等にもありますが、納入とか流通システム、品目体制の確 立等を充実していただけると良いのかなという気がしました。
事務局	本計画でこの事業の位置付けは「食育の推進」でしたので学校給食で使 用した品目を掲載させていただきました。 単に地産地消の推進であれば、今委員さんのおっしゃられたとおりの と広い意味でやるのが当然だと思います。
委員長	今委員さんのほうから食材の品目がたいして多くないのではないかと

	<p>う事と納入流通システムを構築するべきである。</p> <p>ということで有りますけれどもその辺もしもう少し解れば、お話していただきたい。</p>
事務局	<p>本部会議で出たのは、消費する側の給食センター側で利用するには、規格が厳しすぎる、生産者としては、曲がっても使ってもらえる、小さくても使ってもらえる、時期を指定されると出せる・出せないがある。</p> <p>大量消費の学校給食ではそれなりの量がまとまらなくてはならないとか、時間制限があるのでそれなりの規格のものでないと調理には困るのだということがあり、生産者側だけではなくて消費するほうもお互いにやっていかないと地産地消にはつながらない。</p> <p>地産地消を安くというのは基本的に難しいと思います。</p> <p>地産地消はお金がかかるという事を納得した上でないと進まないということがあります。</p>
委員	<p>資料4の事業番号51「放課後子どもプラン」について。</p> <p>週2日の開設日とありますが、保護者のニーズはこれで足りているものか。もっとあるのではないのか。</p> <p>ボランティアの確保が難しいと有るのだが、背景に何があるのか。</p> <p>他校への拡大には空き教室の確保が必要とあるが、空き教室でなくても図書室とか開放すれば多くの子ども達が活動できるのではないかと思う。</p>
事務局	<p>この子ども教室でやっている中味はボランティアさんをお願いして、昔遊び・地域の伝統行事みたいなものを一緒に体験したりなどで、事業の中味としてどうしても年配の方とか、そのようなことが詳しい方など、特定分野の方をお願いしているので、ボランティアの確保が難しいとのこと。</p> <p>週2日開催で保護者のニーズにそっているのかという点では、担当のほうでもそこまでのニーズ調査は行なっていない状況です。</p> <p>空き教室という事では、学校によっていろいろ状況は違いますが、特に友部地区の学校とかでは子どもさんも多いので、空き教室の確保が必要となり、拡大するには難しい状況です。</p> <p>これとは別に、放課後児童クラブ事業として放課後毎日実施しています。</p>
委員	<p>働いている親が増えているので、児童クラブでは人数が限られているので、いろいろ利用できたらと思う。</p>
委員	<p>資料3に「不妊治療の助成」について。</p> <p>このように負担を軽減する事業があるのですけれども、中学生女子対象に子宮頸がんなどの理解を図るとい事業なども考えてはどうなのかなと思う。</p> <p>中学生くらいのお子さんを持つ家庭で、その説明が出来る家庭ばかりではないので、そのようなことを学校の中で取り上げて、わかっている先生などを学校に派遣してお話をさせていただく事はどうだろうか。</p>
事務局	<p>県内他市町村でも既に中学生対象に子宮頸がんワクチンの公費負担や補助をしているところが有ります。</p> <p>また、国としても一部について補助してゆく検討しているという情報も</p>

	<p>ありますので、国県の動向を見ながら考えてゆく必要があると思います。</p> <p>市議会の一般質問等で、公費負担をとということがありまして、健康担当の部署の意見としては知識の普及啓発、必要性の有無を親が判断するに当たってワクチンがあるという事実と効果の部分を市民の方に知らせて、その上で判断してもらおうということです。</p> <p>普及啓発は市がして行くと、その一部として学校の保護者に必要であれば、この場でそのような意見が出たことを健康増進課の方に伝えたいと思います。</p>
委員長	<p>かなり重要な問題だろうと思います。</p> <p>意思を決定するのが何処でやるのか難しいところだと思いますがここからそういう意見が出たことを連絡することをお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>資料3 事業番号192「防犯灯の整備」について。</p> <p>平成21年度は約2倍になっていますね2倍になったのは理由はあるのですか。</p>
事務局	<p>国の緊急経済対策の補助が出まして、それで今までは手が出せなかったものに手を出した一つとして防犯灯があります。</p>
委員	<p>これは市の防犯灯なのですか。</p>
事務局	<p>市で付ける物と、各行政区で付ける物に市が補助する両方併せた数字です。</p>
委員	<p>合併時に区長だったので、当時の岩間町は防犯灯の管理は区が行うということでしたが、その管理を市にお願いしようとしたが出来なかった。</p> <p>せめて通学路だけでもと思ったが、通学路の定義が定まっておらず断念した経緯があります。</p> <p>防犯灯の維持管理は区として大変です。</p>
委員	<p>防犯灯の件は市民活動課が担当しているのですけれども、行政が持つもの、地域が持つものの調整はしているはずですよ。</p> <p>友部地区は行政区と行政区の間については市が持つ、通学路の中でも行政区の中は行政区が持つとやっていた、その辺の調整はしています。</p>
委員長	<p>子ども達の安全を考えても必要という観点から防犯灯が出来たのだらうと思うのですけれども、私の感想は通学路の定義が無ければ作ればよかったのにと思いました。</p>
委員	<p>今のことに関連して、子ども会育成会では単位子ども会で子ども達の通学路で危険な場所を取りまとめ、それを市と警察に出して、防犯灯等を通学路の暗いところに付けてくれるように要望を出しています。</p>
委員長	<p>その要望なんかも含めてこのようにしたのでしょいか。</p>
委員	<p>それで付いたのかなと、感謝はしているのですが。</p>
委員長	<p>子ども達の安全とかの視点からどのような場所に付けられたのかといったことを整理してみるとここで議論したことは良かったということになりますね。</p> <p>検証になってくるのかも知れない、もし時間があったらやってもらえるとありがたいと思います。</p>
事務局	<p>資料の補足で、資料3「不妊治療費の助成」ですが、これにつきまして</p>

	<p>は、22年度から後期計画の重点事業という事でこの部分の体外受精については、22年度から10万円というように拡大し、期間につきましても2年間限度であったのを5年間に延長をしています。</p> <p>このようなこともありまして、実績的に20年度21年度と年々増えている傾向にあります。</p>
委員	<p>資料5、事業番号97「寺子屋事業」について。</p> <p>これは教育委員会生涯学習課が担当で始まったのですが、これに参加する子どもの数は予想より多いのですかそれとも少なかったのでしょうか。</p>
事務局	<p>3公民館で実施していますが、各々定員に対しては達していません。</p>
委員	<p>学校に周知をして、是非せつかく初めた事業なので活用していただきたいと思います。</p> <p>笠間は全国学力調査も大分上のほうですので。</p>
委員長	<p>全国的にも子どもに期待するお金があまり使われていないとか、人生初期の投資が必要だとかいうことがあります。</p> <p>ますます教育力が問われることになりますので、事業の周知をよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>以上で意見交換を終わります。</p> <p>市執行部におかれましては、本日整理した実施状況を踏まえて、後期計画においては、成果が出ているものは引き続き実施していただき、課題になっている部分については解消を図りながら、目標達成に向けて、事業実施に努めていただくようお願いしたいと思います。</p> <p>また、これから新年度予算の編成作業の段階になるとは思いますけれども、後期計画の中でも前倒しのできるものについては、期間内の早い時期に実施されるよう、予算措置も含めて検討していただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>次回は年度末に開催するとして閉会</p>	